

青年会議所とは

活動内容



「明るい豊かな社会」を目指して活動する20歳から40歳までの青年団体です。

青年会議所（JC）は“明るい豊かな社会”の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。

青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。

50余年の歴史をもつ日本の青年会議所運動は、めざましい発展を続けておりますが、現在708の都市に約39,000名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として公益社団法人日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年運動の中核は国際青年会議所ですが、115ヵ所の国及び地域に101 NOM（国家青年会議所）があり、約17余万人が国際的な連携をもって活動をしています。

公益社団法人日本青年会議所の事業目標は、“社会と人間の開発”です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感をもとめ社会開発計画による日常活動を展開し「自由」を基盤とした民主的集団指導能力の開発を押し進めています。

さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創りだすため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。

また、社団法人四日市青年会議所は1955年に全国で70番目に設立されました。

青年会議所とは

活動内容



「明るい豊かな社会」を目指して活動する20歳から40歳までの青年団体です。

全国708のLOM、約3万9千人のメンバーが、それぞれ地域から、国を考え、世界を見つめています。



JCI運動の主体は常に「地域」です

青年会議所は活動の基本を「修練」「奉仕」「友情」におき
会員は「明るい豊かな社会を築き上げる」ことを共通の理想としています。
また、会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、
地域との共同により社会の発展に貢献することを目的としています。

修練・奉仕・友情を信条とし
よりよい社会づくりを目指す。

LOM

Local Organization Memberの頭文字をとったもので、
国家青年会議所に属する各地青年会議所のこと。

ブロック協議会

公益社団法人日本青年会議所および地区協議会としての事業計画方針などを各地青年会議所に伝達、浸透させ、また、各地青年会議所の事業活動、意見などを公益社団法人日本青年会議所および地区協議会に報告連絡するための機関。

現在、47ブロック協議会がある。

地区協議会

公益社団法人日本青年会議所としての事業計画、方針などを各ブロックおよび各地青年会議所に伝達、浸透させ、また、各ブロックおよび各地青年会議所の事業活動、意見などを公益社団法人日本青年会議所および地区協議会に報告連絡するための機関。

現在、10地区協議会がある。

NOM

National Organization Memberの頭文字をとったもので、
国家青年会議所と訳されている。例えば日本青年会議所は、
国家青年会議所の中の1NOMである。

JCI

Junior Chamber International, Inc 国際青年会議所の意。



四日市JCのメンバーは、社団法人四日市青年会議所の一員であると同時に公益社団法人日本青年会議所の所属し、また、国際青年会議所(JCI)のメンバーでもあります。このJCIクリードは、JCIの定款に示されている条項の一つで、JCマンの行動の最も基本的な理念となっています。JCでは例会などの集まりの際、このJCIクリードを全員で唱和して共有しています。

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;and
That service to humanity is the best work of life.

JCI 綱領

我々はかく信じる：

「信仰は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家の主権を超越し
正しい経済の発展は
自由経済社会を通じて最もよく達成され
政治は人によって左右されず法によって
運営されるべきものであり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最善の仕事である」



JC宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きとし協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱 領

われわれ J A Y C E E は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者相集い力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

綱領は、JCメンバーの意志を統一し、日本青年会議所のあり方を再認識するため、1960年に日本独自のものとして制定されました。この綱領には、青年会議所としての理念を確立し、JCメンバー個々人の運動目標を明確に位置づけたものです。

また、JC宣言は、綱領と並ぶJCメンバーの目指すべき基本としてあげられ、混沌(エネルギーが充満したニュートラルな状態)から、切り拓き、そして率先して行動する事がJCの使命であり存在意義であるとしています。この宣言は、時代に即した宣言とするため2001年10月に改訂され現在の宣言となりました。

全国の青年会議所は、JC綱領を基にJC宣言によって社会との約束を行い、「明るい豊かな社会」という目標に向かって行動しています。



四日市JC宣言

私たちは 現在を生きる青年として
未来に続く笑顔あふれる人々と
魅力あるまちの実現のために
改進のこころを持って行動することを
宣言する。

注釈文

<私たちは>

50年という歴史のもとに築き上げられた社団法人四日市青年会議所の会員である私たち。

<現在を生きる青年として>

「いま」という現在は、物質的な豊かさの下に目まぐるしく変わる時代の中で、現在を担う青年経済人としての誇りと自覚を持つ。

<未来に続く笑顔あふれる人々と魅力あるまちの実現>

この宣言は、「未来に続く笑顔あふれる人々」「魅力あるまちの実現」がキーワードとなる。

私たちの考えるまちの主役はまちに住む人々である。その主役である人々が楽しい思い出と共にまちに愛郷心を持ち、このまちに住む幸せを誇りと感じる場を私たちと共に育むことによつてあふれる笑顔が、未来へ続く「まちづくり」「ひとづくり」に必要と考え、その実現に私たちは努力する。

<改進のこころを持って>

私たちは、創立50周年を迎えるにあたり、先輩方の残して頂いた歴史・経験を紐解き、学び・尊重し、さらに前進していこうという考え、すなわち「改進のこころ」を持つこと。

<行動すること>

以上述べてきたことを実現するために「どうすればよいか」を考え、行動すること。

<宣言する>

「宣言」することによって、社団法人四日市青年会議所が、外部に対して守らなければいけない、また守るために努力していくことを約束する。成果・評価ばかりを追い求めるのではなく、50年先までやり続けることが大切であり、それを宣言する。